



# HOKKAIDO UNIVERSITY

|                     |                                                                                                                                                          |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Title               | Relational mobility as a socio-ecological foundation of prosocial minds and behaviors [an abstract of dissertation and a summary of dissertation review] |
| Author(s)           | Freeman, Jason Dillon                                                                                                                                    |
| Degree Grantor      | 北海道大学                                                                                                                                                    |
| Degree Name         | 博士(人間科学)                                                                                                                                                 |
| Dissertation Number | 甲第16498号                                                                                                                                                 |
| Issue Date          | 2025-03-25                                                                                                                                               |
| Doc URL             | <a href="https://hdl.handle.net/2115/94962">https://hdl.handle.net/2115/94962</a>                                                                        |
| Rights(URL)         | <a href="https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/">https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/</a>                                                  |
| Type                | doctoral thesis                                                                                                                                          |
| File Information    | Jason_Freeman_review.pdf, 審査の要旨                                                                                                                          |



# 学位論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称：博士（人間科学） 氏名： フリーマン ジェイソン ディロン

|      |    |     |    |    |
|------|----|-----|----|----|
|      | 主査 | 教授  | 結城 | 雅樹 |
| 審査委員 | 副査 | 教授  | 高橋 | 伸幸 |
|      | 副査 | 准教授 | 小川 | 健二 |

## 学位論文題名

Relational Mobility as a Socio-Ecological Foundation of Prosocial Minds and Behaviors

（向社会心理・行動における社会生態学的基盤としての関係流動性）

### ・当該研究領域における本論文の研究成果

当論文の特筆すべき研究成果として、以下の4点を挙げる。

第一に、人間の向社会性の地域差を説明する上で、個々人が暮らす社会環境の性質、特に関係流動性の役割を考慮に入れることの重要性を示したことである。過去の研究では、北米人は東アジア人よりも、困難な状況に置かれた他者に対する共感的配慮や、その人々に対して手を差し伸べる援助行動を含む向社会性が強いことが見いだされてきた。この知見は、伝統的な文化心理学理論——例えば、個人主義対集団主義、また文化的自己観——の理論からは、説明が難しかった。これに対して本研究は、社会生態心理学のアプローチを採用し、特に関係流動性が向社会性の社会差を生み出すメカニズムを説明する簡明な理論を提唱した。さらには、計7つの実証研究を通じ、説得力のある証拠を得た。

第二に、本研究は、人間の向社会性研究に対して、社会生態環境の性質を考慮することの重要性を指摘するものである。本研究の結果は特に、向社会的行動の究極的な目的の一つは社会的地位の獲得であると主張する競争的利他主義に対して、対人関係の選択の自由度を考慮する必要性を指摘するものである。

第三に、多国間比較と地域間比較の両方を行い、それらの間で理論的に等価な結果を得た研究6は、文化心理学や社会生態心理学の方法論に対して重要な示唆を与えている。文化差の存在そのものを明らかにすることが主目的であった従来の多くの文化心理学研究は、北米 vs. 東アジアなど、主に「国家」レベルの比較を用いることが多かった。しかし、そこで明らかにされた心の文化差を生み出すより一般的なメカニズムを同定するための、より抽象性の高い研究では、国家間の比較のみならず、地域間、異時点間を含む様々なレベルでの比較を行い、そこで概念的に等価な差が生まれているかを検討することが有効であろう。本研究は将来、そうした望ましい方向性を持つ先駆的研究の一つとして、当該分野に歴史を刻むことが期待される。

第四に、本研究は、これまでの共感性の文化差研究が注目してきた共感的配慮に加え、ポジティブ共感と呼ばれる別の種類の共感性の文化差を新たに俎上に載せた。そして、ポジティブ共感に文化差があること、それもまた関係流動性の違いによって理論的・実証的に説明可能であること、さらには、共感的配慮とポジティブ共感がそれぞれ異なるタイプの援助行動につながっていることを示した。これらの知見は、共感性研究に対して大きな貢献を持つものである。

### ・学位授与に関する委員会の所見

以上を総合的に評価し、本委員会は全員一致で、フリーマン・ジェイソン・ディロン氏に博士（人間科学）の学位を授与することがふさわしいとの結論に達した。